

名前前で読める

自己の運命A・B・C

成功運

健康運

結婚運

〈姓名の神秘〉

前　　が　　き

自己の運勢に対する予見の欲求は不幸と手を切って幸福を求める人間本来の要求としてよいかも知れません。しかし人々には見本とされ易い「落し穴」がある事を忘れてはならない。それは自己の持つ特質で、生かすか殺すか此の特質の応用に関わる事が極めて大きく、それによって運勢をも左右するのでありますから、先ず自己を知り理解する事が最も大事です。

永年追跡調査をしましたところ案外と自分の特質を把握する年齢が遅いようです。

弱点を利用されたり一徹な義理堅さで損をしたり人にオセツカイをやき過ぎ、決断力のなさによる惰性化等に気付いた時は相当の年齢に達している場合が多いのは参考にしなくてははいけません。「性格だからしかたない」と片付けるから自己を改革する事も出来なければ、不利、不遇から脱出する事も出来ないのですから注意したいものですが如何がでしょう。

相手の性格や特質を把握する事も時間と空間を要する割合、予知する事はなかなか至難です。下手をすると見抜かれます。「人生は先手が肝心」な事は言うに及ばず将棋と同じこと。相手に先を読まれたのでは勝目がないのが将棋や碁だけでなく人生の常ではないでし

ようか。

余談のようですが蜂の巣を先に気付くと刺されませんが、知らずに近づくと必ず刺されます。狩猟でもそうです。獲物に気付かれると逃げられます。一事が万事、何事にもあてはまると思うのですが如何がでしょう。

人生において相手の性格や特質を予知して対処していく事が出来れば、自己の特質を充分生かす事が出来るので計り知れない価値があります。先んずれば人を制すの格言ある如くビジネスに於て転任してくる上司を予知して対処出来れば等です。本学は、姓名の神秘数理の統計学でありまして神秘的な数は万事万物の根元にして、如何なるものも数の支配を免がれる事は出来ません。宇宙大自然も、目に見えない電気、空気の如きも悉く数の定律に基づいた離合集散の結果定義づけられているのである。

況んや人の名前も其の持てる数の支配に依って運勢、性格、特質、健康運等を具現しているのである。

本学姓名の神秘を応用しますと対面せずして相手の性格、特質、成功運、健康運等を予知することが出来ます故に、結婚、協同事業、ビジネス、交友関係に応用しますと幸運を招き、不遇を補ない、計り知れない価値があります。

昭和五十六年六月

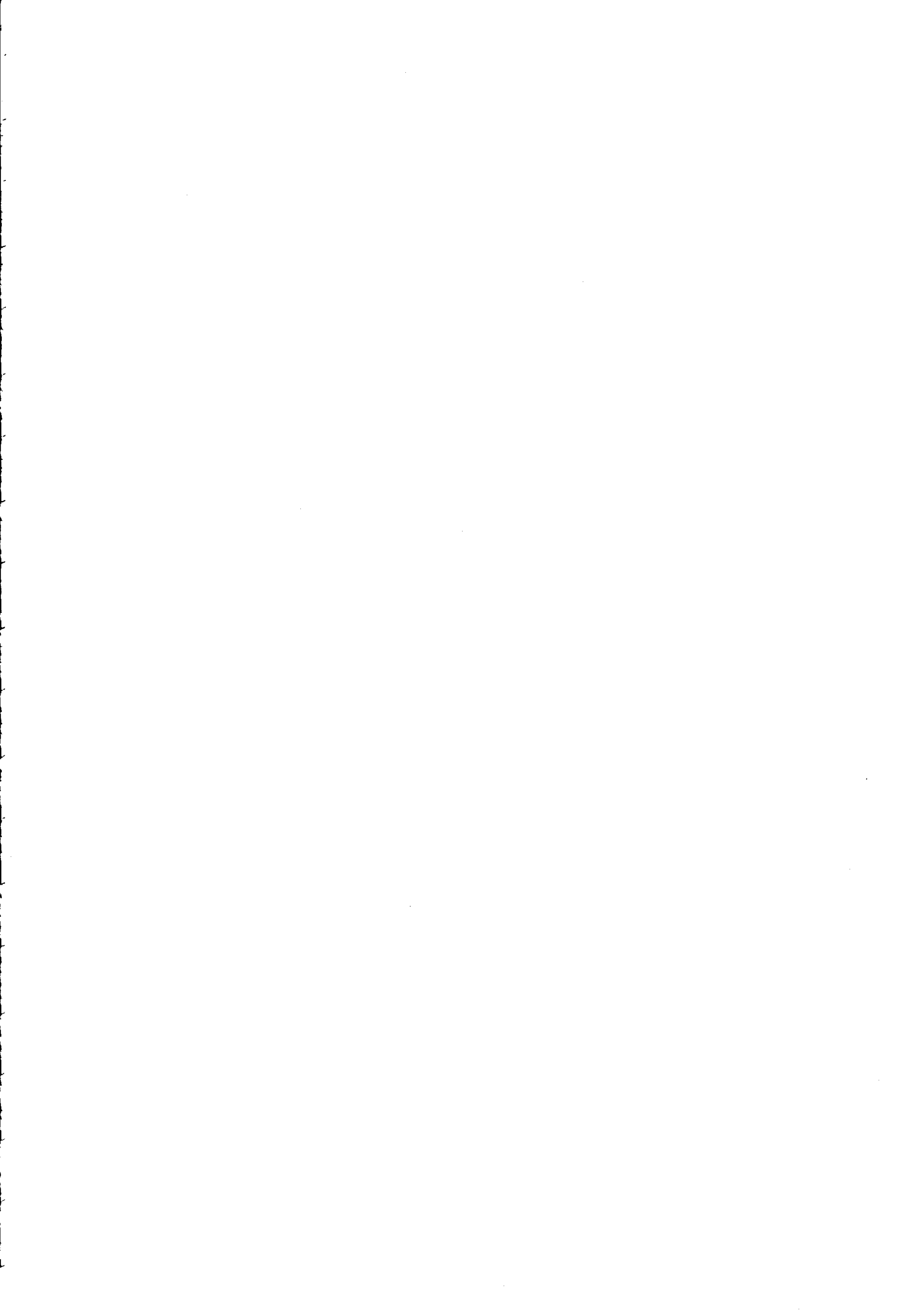
著者

目次

前がき	1	和合の秘訣	117
姓名の神秘	5	結婚運について	119
姓名の五画分類	10	処世の秘訣	123
陰陽五行の法則	14	自己を知り迷うな	125
遺伝の法則	16	理想と使命	128
文字の成り立ち字源	18	許しの世界に良き人生	131
例示	45	創造は可能である	134
数理の概要	52	連想法は現状を打開す	137
数理のあらまし	57	自己変革の道	140
陰陽五行の解説	63	躰て育てる	142
性格判断表	92	仕事は我が生命	149
数の霊位	95	縁というもの	153
		長所をみる	157

喜びは尊し	160
価値判断力を養う	163
親の慈悲、子の報恩	166
豆知識	169
医者の診断う飲にするな	171
自分の体力を知ろう	173
身元保証書について	175
血統主義	176
御案内	178

姓名の神秘



姓名の神秘

姓名は人格を象徴し代弁せるものなり。

人は誰でも姓と名で呼称され其の名あって其人存し、其の人ありて其名必ず伴う。其人の魂魄の宿る所天にあらず地にあらず正に姓名にあり。某しかの姓に子供が誕生して命名される。命名された名前は某しかの文字で表現され、その文字には字そのものの成り立の定義があり、文字の画数が当然出てまいります。定義に基づいた字画数には神秘的な霊位があるのです。

此の字画数を**天画**、**人画**、**地画**、**外画**、**総画**の五つのブロックに集画して科学的な統計に基づきまして姓名に数理の霊位が及ぼす神秘を実証せるが即ち、姓名の神秘数理の統計学であります。永年追跡調査の結果を例記しますと左の如し。

当人は気付くことなく数理の支配を受けている神秘的な事実を探知できる端的な実証例は、天画に三又は四数に対し人画に三又は四数を有している人は急進的、感情的になり易い。人画に三又は四数に対し地画に三又は四数を有している場合も前記の如く急進的、感情的になり易い。

天画に七又は八数に対し人画に七又は八数を有している人は自信家で自我心が強く、人

との同化融合に欠けたり独占欲が強すぎまして不和を生じ易く、時に家族関係に於ても争いを生じ不幸を招くことがあります。人画に七又は八数に対し地画に七又は八数を有する場合も前記の如き数理の支配を受けるのです。

人画に七又は八数に対し外画に七又は八数を有する人の場合は特に対人関係（社交上）に於てトラブルや支障が生じ易く、この場合は意見の相違等で上司にまでタテつく態を示す者もあります故に、注意しなくては自己の不幸はもちろん家族や周囲にまで迷惑を来たすことがあります。

外画に六、十六、二十六数を有している人は社交家で友人が多く人づき合が上手ですが、親分肌的な面がありましたして人の面倒を見たりオセツカイをしすぎる特質があります。他画にありまして他数理との配合に依りまして、親分肌的な数理の支配を受けることがありますので、“人には程々”という格言を忘れないようにしたいものです。

外画は主に対人関係（社交運）を支配するところでありますから、此の部に数の靈位に示す凶数を有している人は社交下手で対人関係に支障を来したり悩みを生じ易く、時には外部の事故等に逢い易いのも参考にしたいものです。

急進的、感情的になり易い人はこれを矯て慎しむように心がける事によりまして、智力

と活動力の旺盛な特徴を自己発展のキーポイントにすべきです。感情的になりますと冷静さを失い、自分をも見失なうのですから結果は必ず不利、不幸を招く場合もあるかと思いますが如何がでしょう。

頑固で一徹な人は相手の立場を理解しながら事に当る心の寛大さを養うことによりまして、挫けない自信の強さと決断力を応用する事で人の信頼を集め人の力で自己を發展させる事が出来るのです。逆に使いますと内心の義理堅さと情にもろい点が人につけ込まれて、不利になり、人に倒されたり義理に絡んで損をします。表面は頑固で内心の弱いのが頑固で一徹な人の特質ですから注意しなければなりません。

神経質な人は、疑い深くて片意地な自己中心型ですから、人との和を欠き易いため自然と内向的になり、小さな事に心を悩ましたり、取越苦勞を重ねる悪循環を繰返して自己を束縛し苦しめているのですから、自らが素直になって、自分の限界を知ることによりまして人との和合に務めるなれば、小さな事に気の付く特質が人に好かれ重宝な人柄に変貌して、求めずして幸せの道は開けるのですが如何でしょう。

姓名に對する五画分類

天画は姓の文字を合せた数理であり、祖先伝承のもので吉凶の影響は直接はなく天、人、地の陰陽配列との関連と総画に於て、本人の成功運と健康運を左右します。

人画は姓の下部の文字と名の上部の文字との合数の数理で、主運です。当人の一生の中心運命を司どります。又此の部の数、十以上は盈数を払った端数たとえば、十三の場合は三で、二十五の場合は五で表面の性格と能力を現わします。性格判断表（P 92）を参照されますと理解できます。この人画部主運に吉数のある場合はそれだけの幸運となり、この部に凶数のある場合はそれなりの不遇をうけ、特に中年頃に最も強く現われます。

地画は名前の文字を合せた数理で、基礎運、前運を司り人画数との関連により後運をも支配します。幼、少年より青年時の運命の吉凶は地画に支配される点が多く従つて性質、健康上に影響し四十代まで最も強く作用します。

外画は姓名全部の字画数の中より人画の二字を除外した残りの字画数で、社交運、人画、地画、総画を補佐し其の運の強弱を司り、夫婦、交友、知己の運命及び周囲の運命を左右します。

総画は姓と名の字画数全部を合せた数理で、裏面の性質を現わし、晩年五十才前後より強

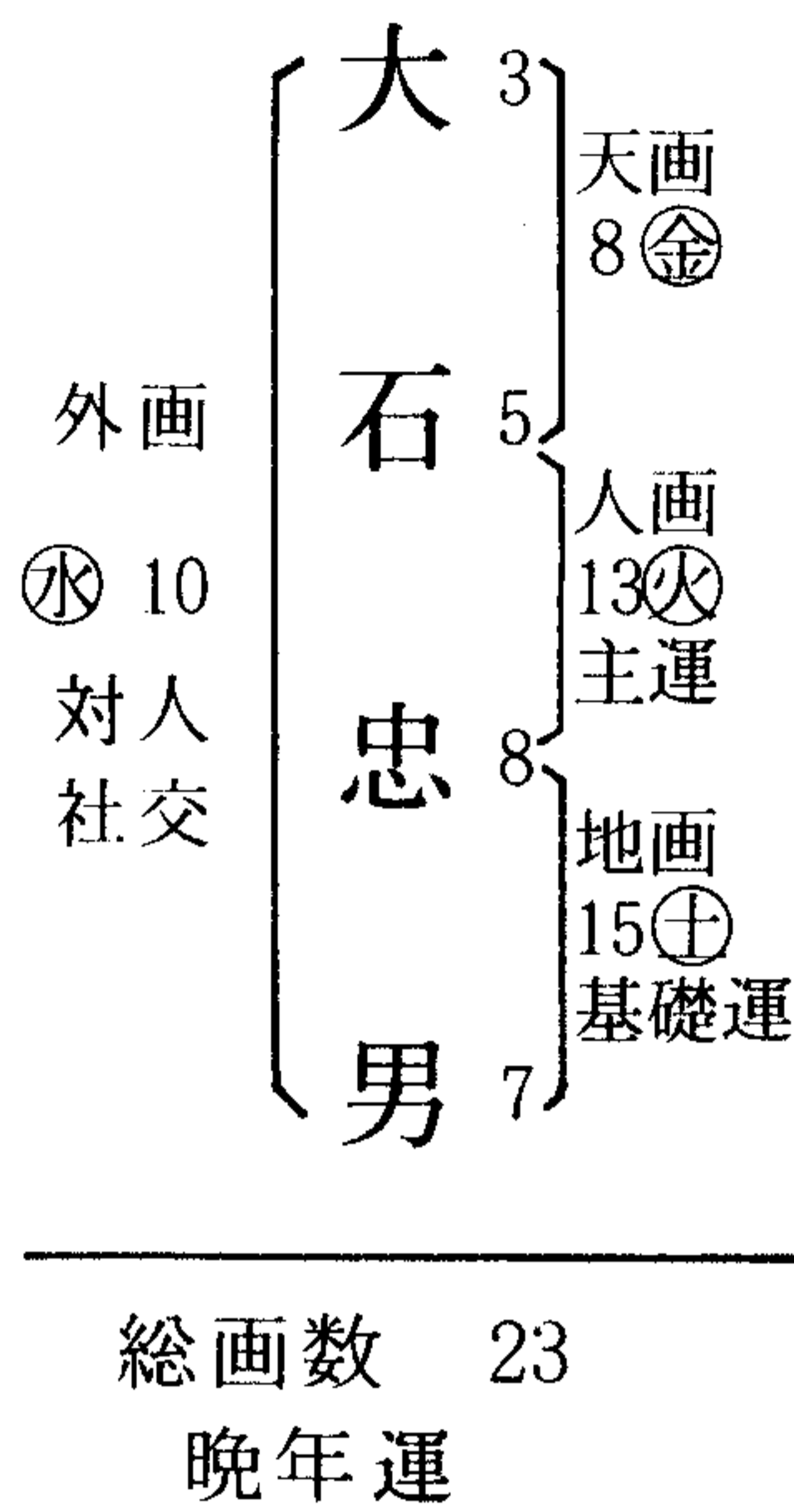
く誘導しますが前運にも現われます。

姓名は二字で構成している場合から四文字構成が最も多くそれ以上の場合もありますが、陰陽の配列と五画に分類して判断するたてまえ上、四文構成を基本としています。

姓の持つ画数は即ち祖先伝承のものでありますから、吉凶は関係なく名前との関連性にあるのです。又離散している個々の字画数も直接関係なく、五画に分類して天画数、人画数、地画数、外面数、総画数と集合させた時に現われた数理に依りまして、吉凶を示します。

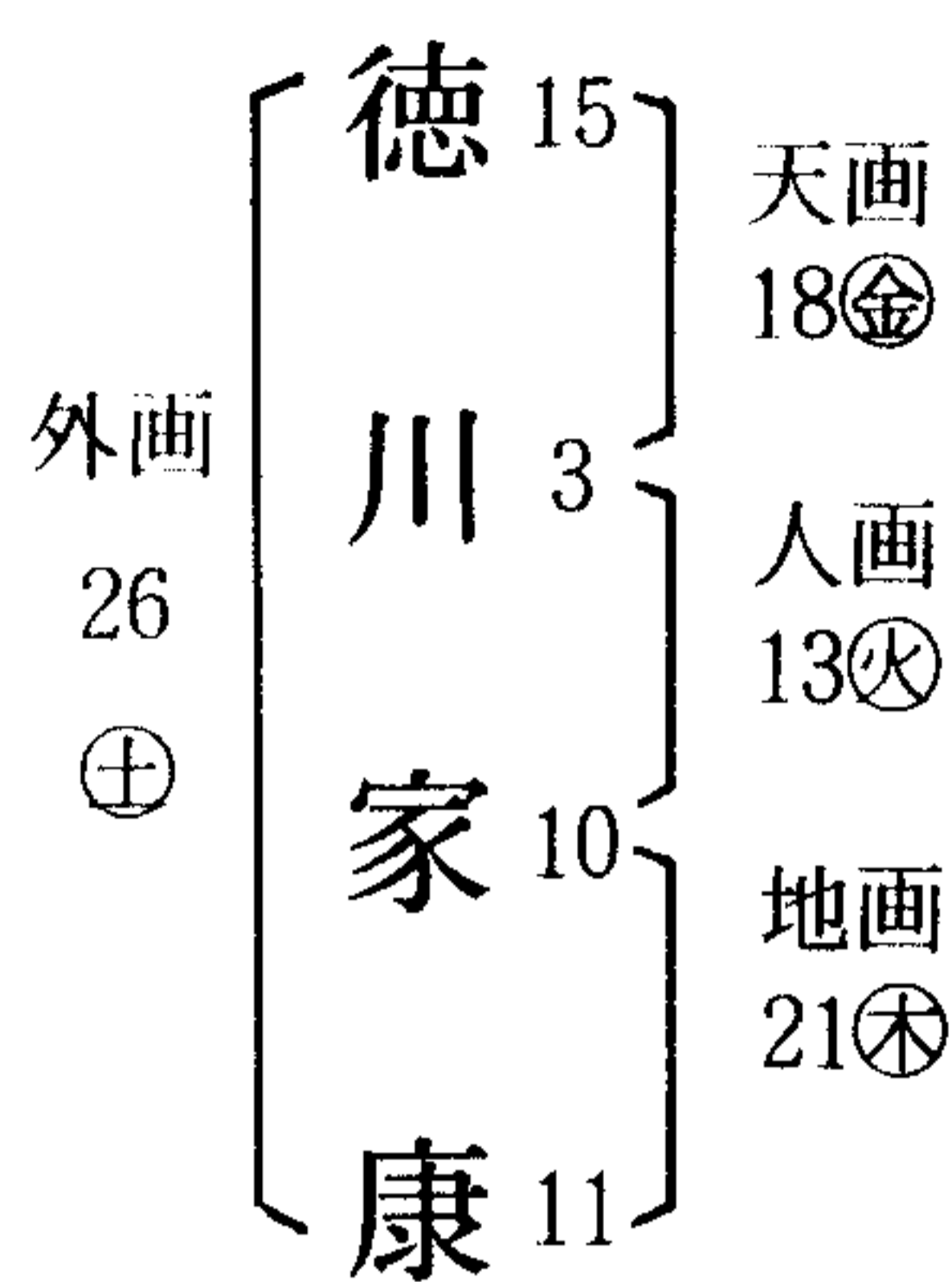
尚、集合した場合も天画数は吉凶関係なく、天画に対する人画対地画の配列の陰陽と総画数に影響があります。

陰陽五画と数の集合例

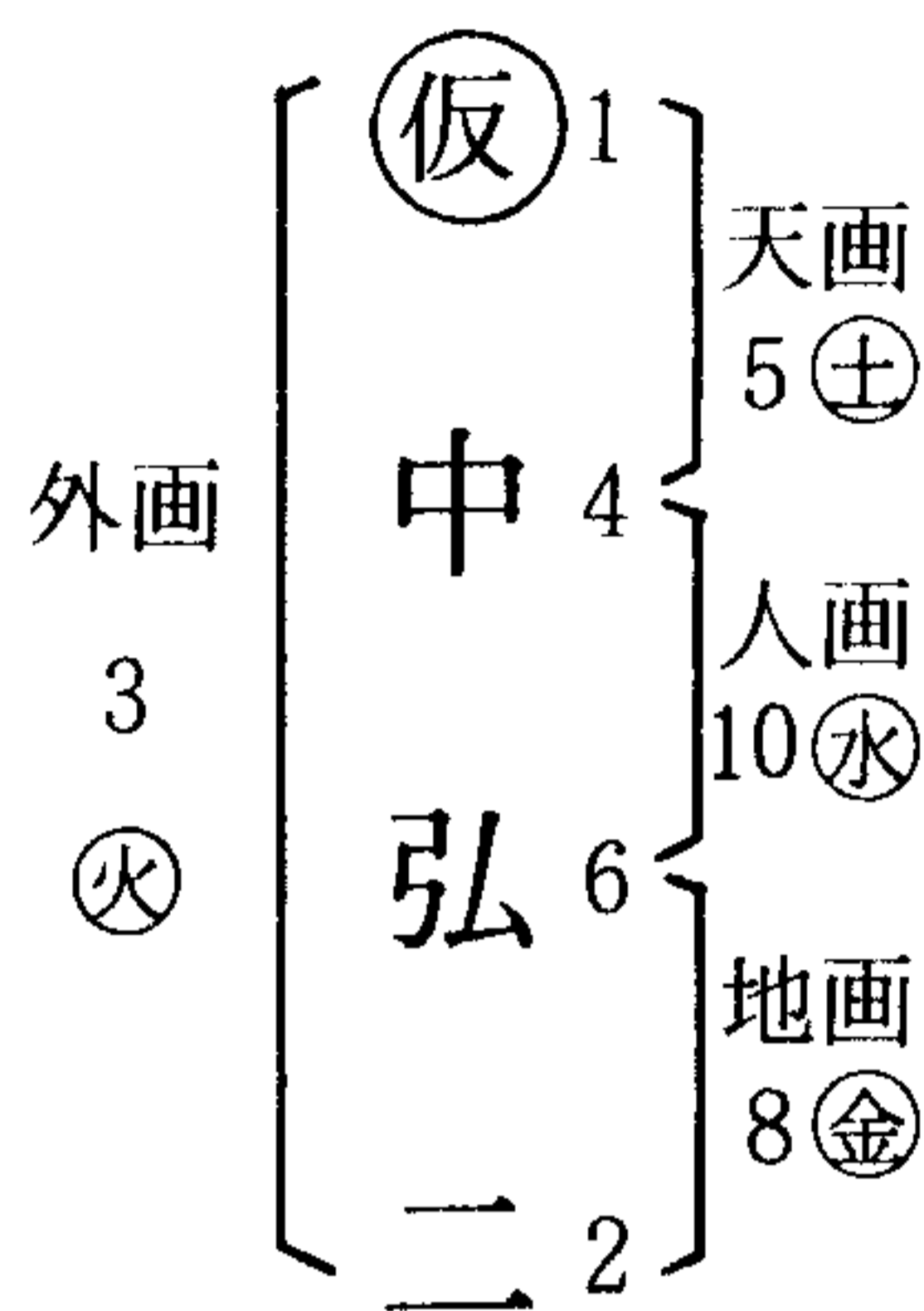


尚又、一字姓一字名の場合、二字

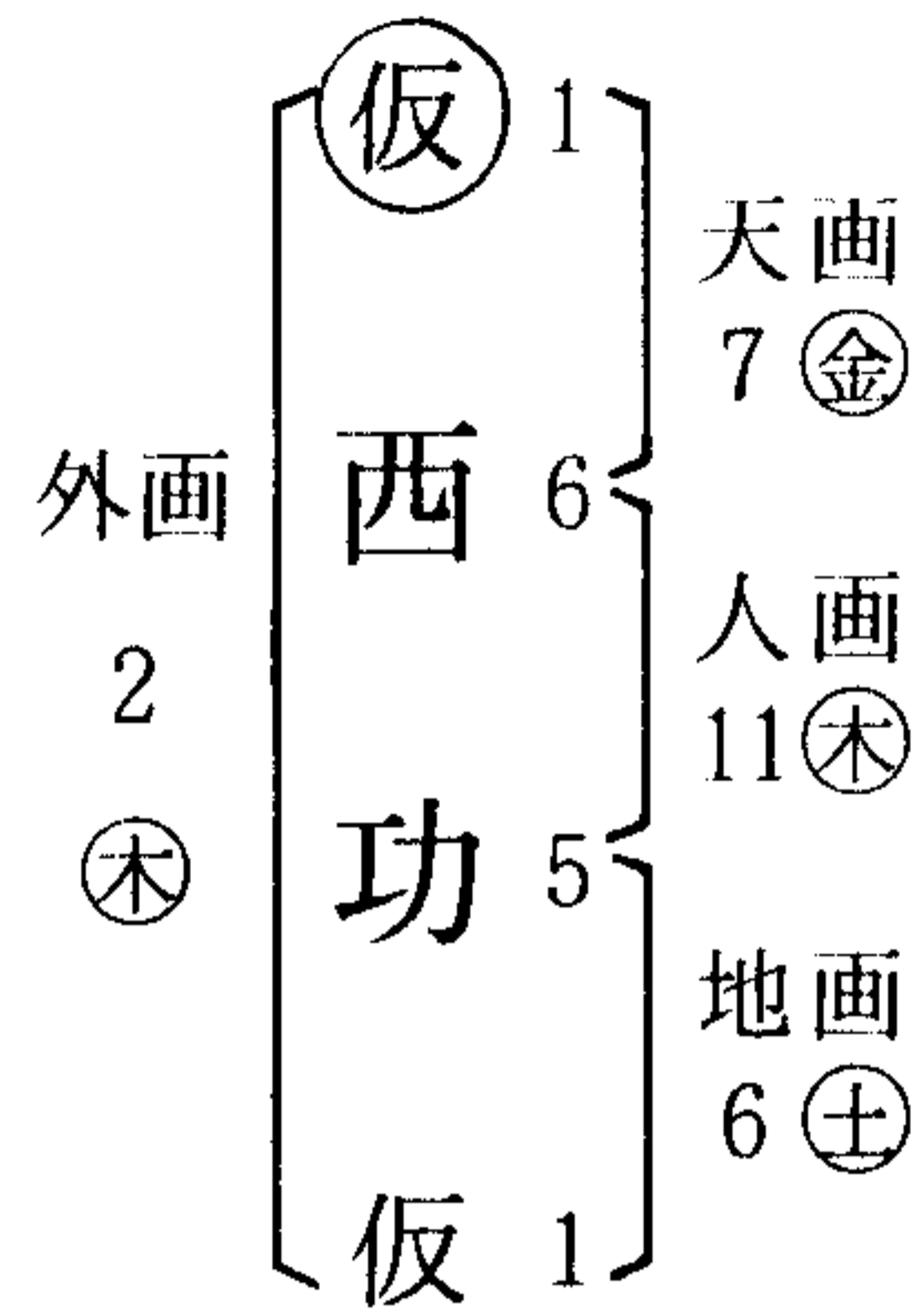
姓一字名の場合、一字姓二字名の場合、内側ある物は必ず外側を有す。外側なきもの内側もあらず”物理の法則、陰陽に従いて、仮姓及び仮名いずれも一を加う。仮りし物は必ず返す道理に従いて総画数には算入せず。



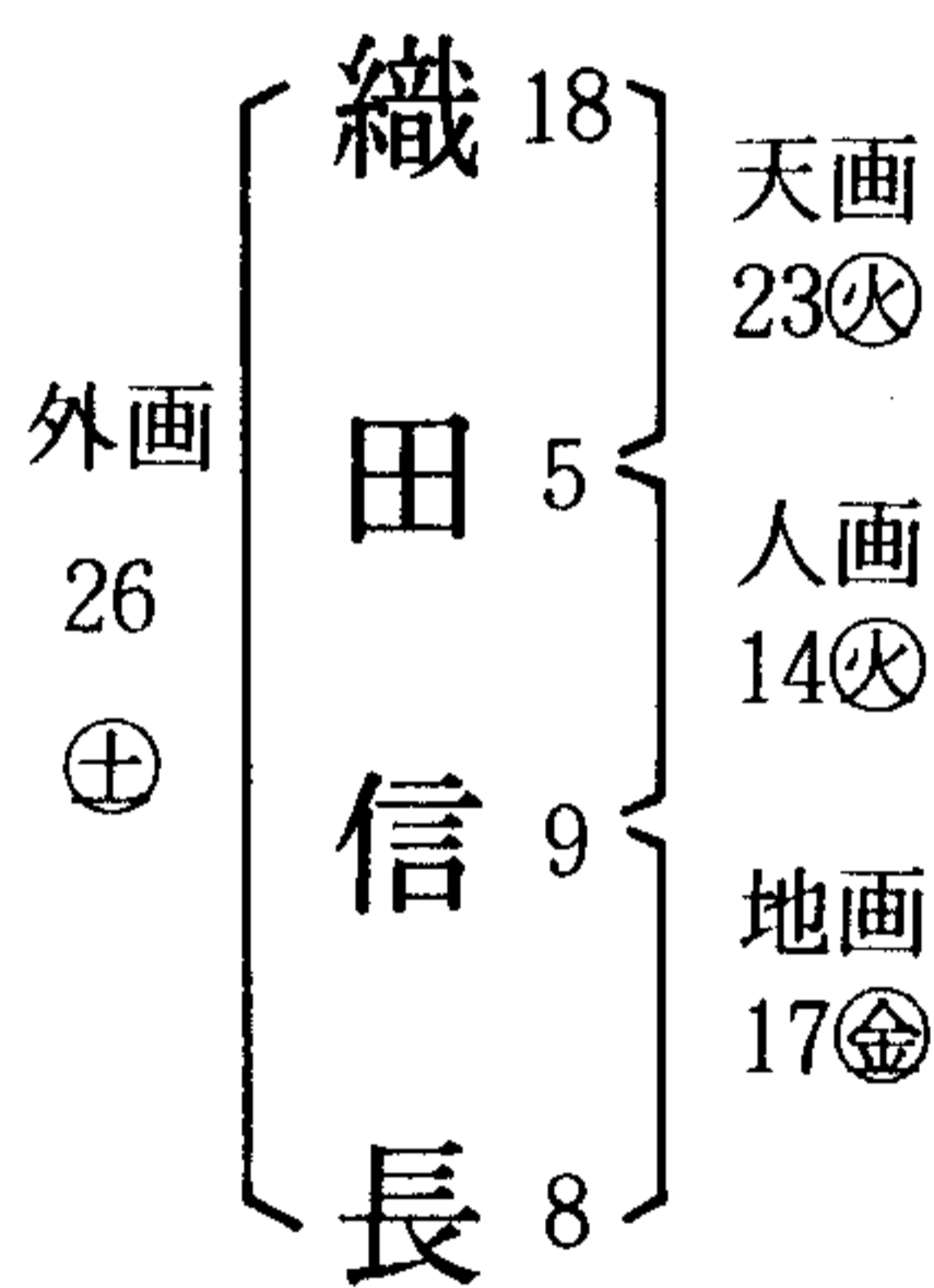
総画 39



総画 12



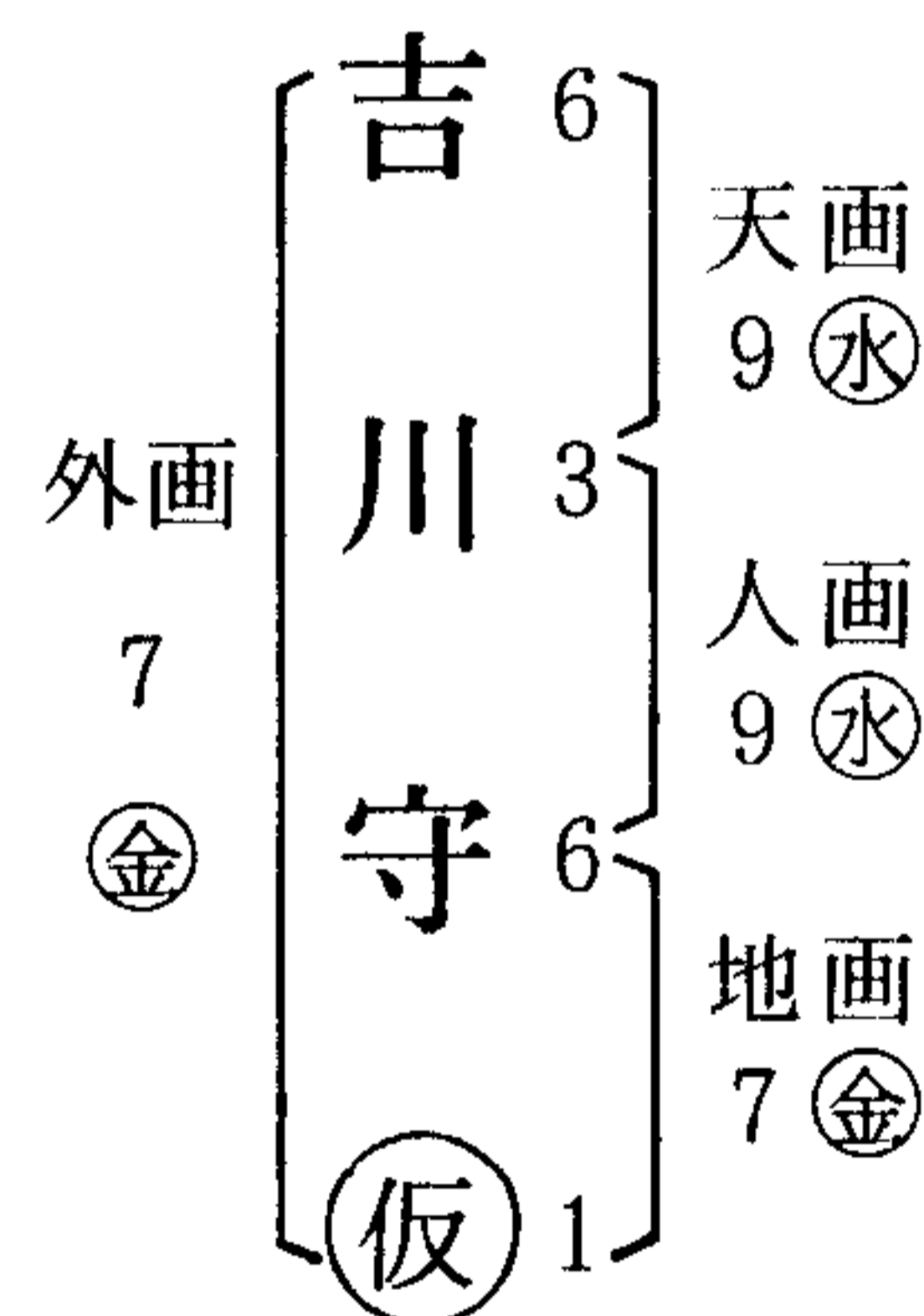
総画 11



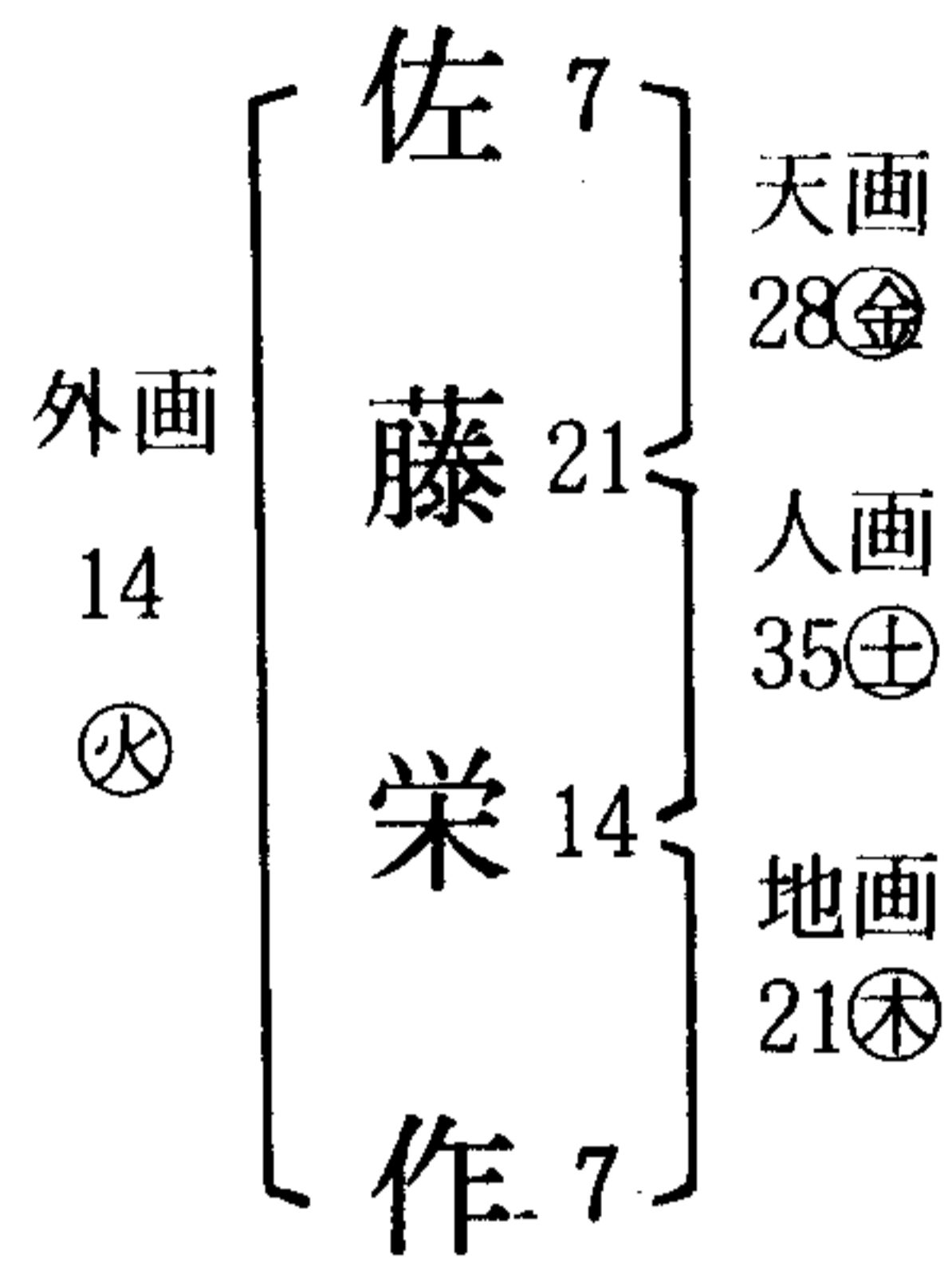
総画 40



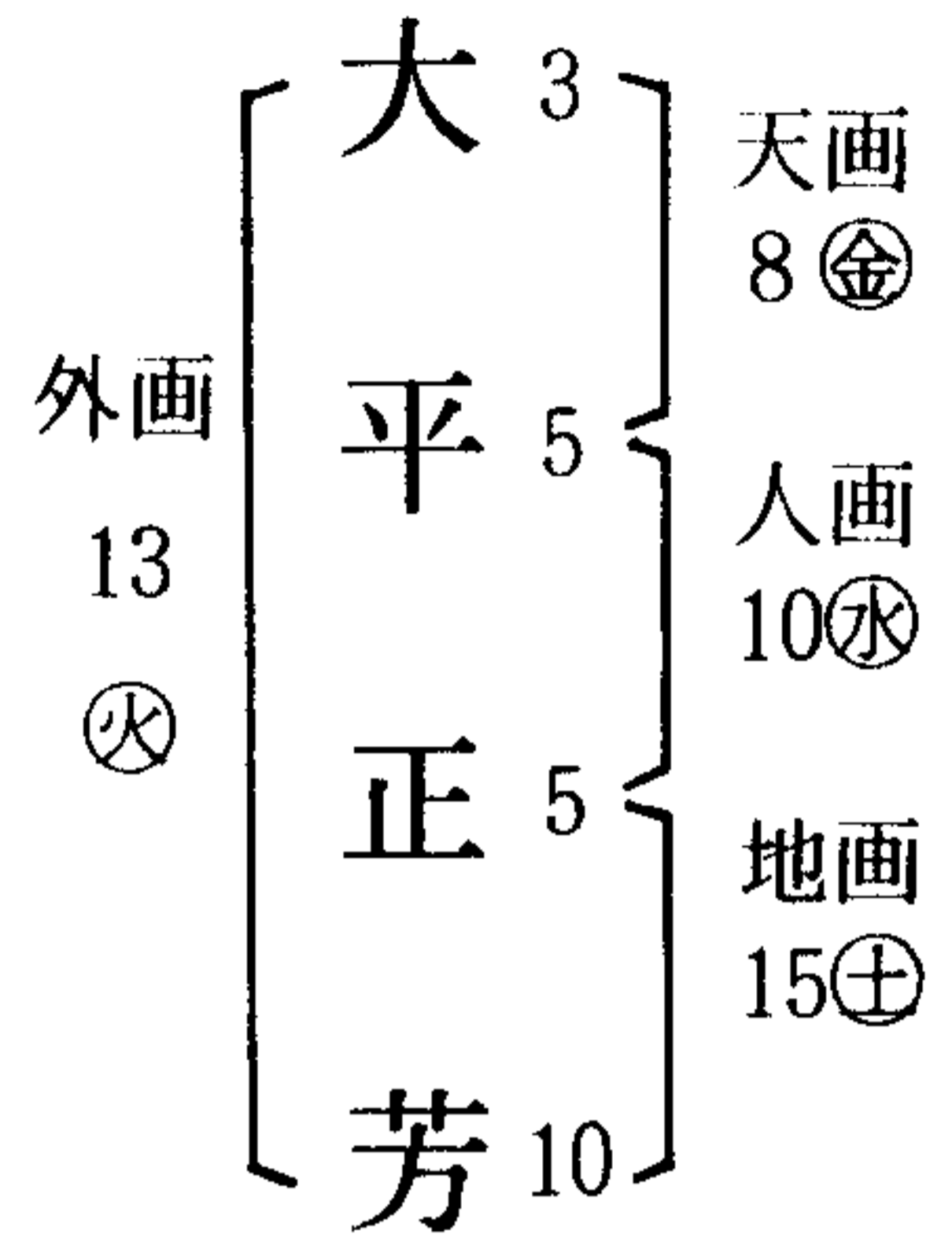
総画 37



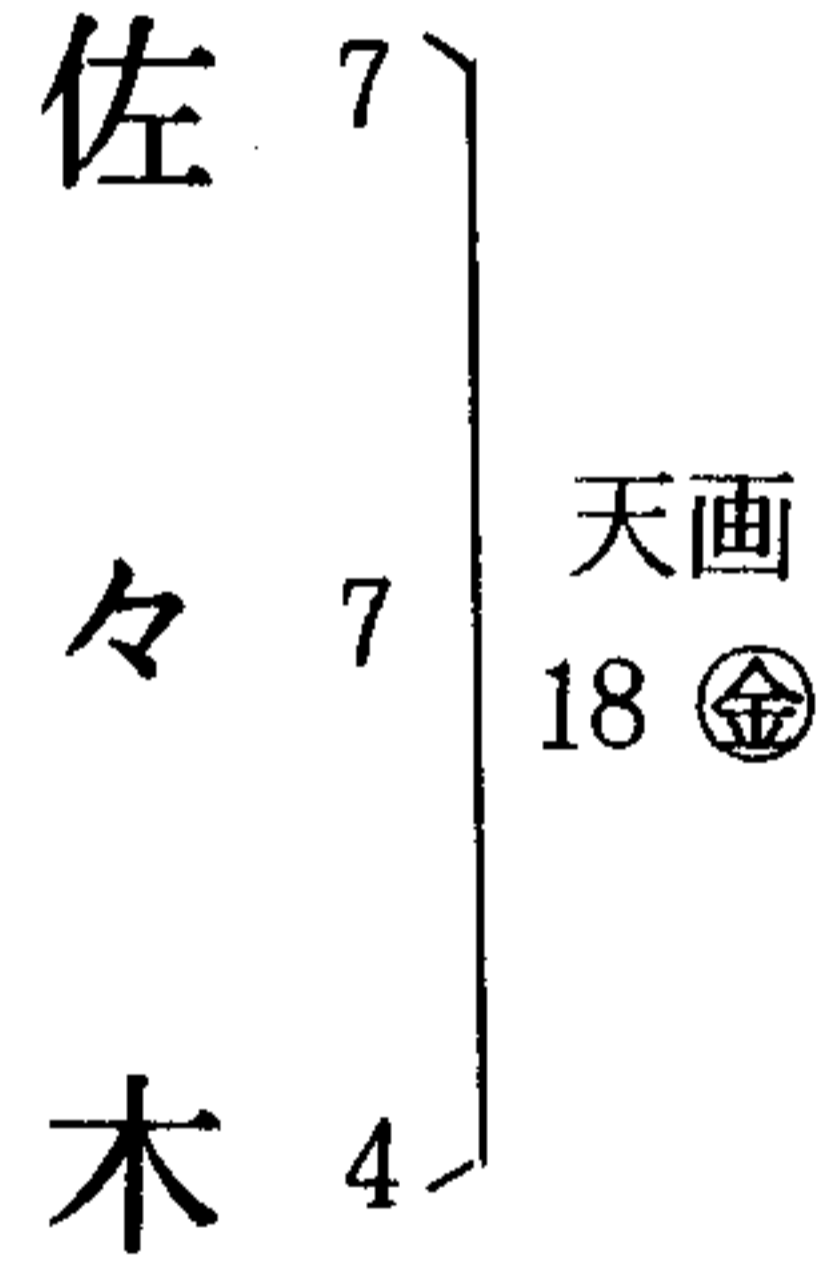
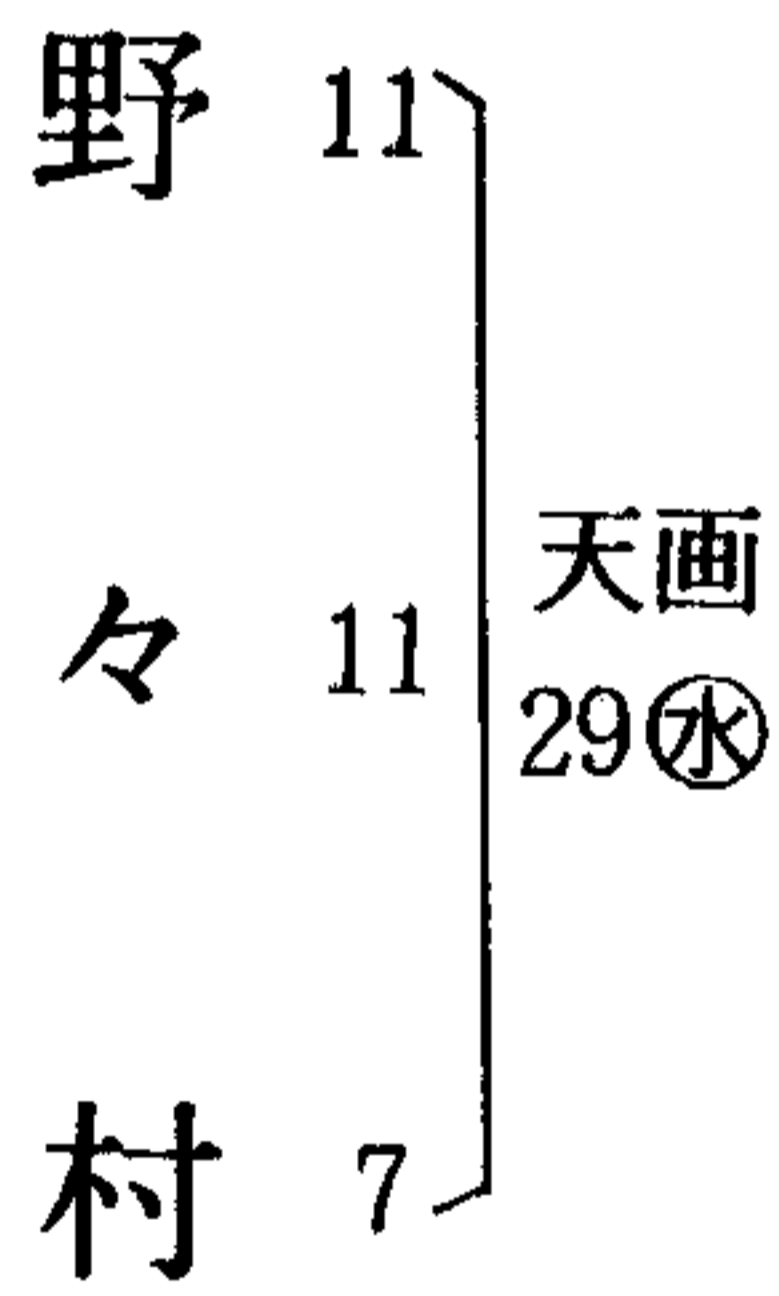
総画 15



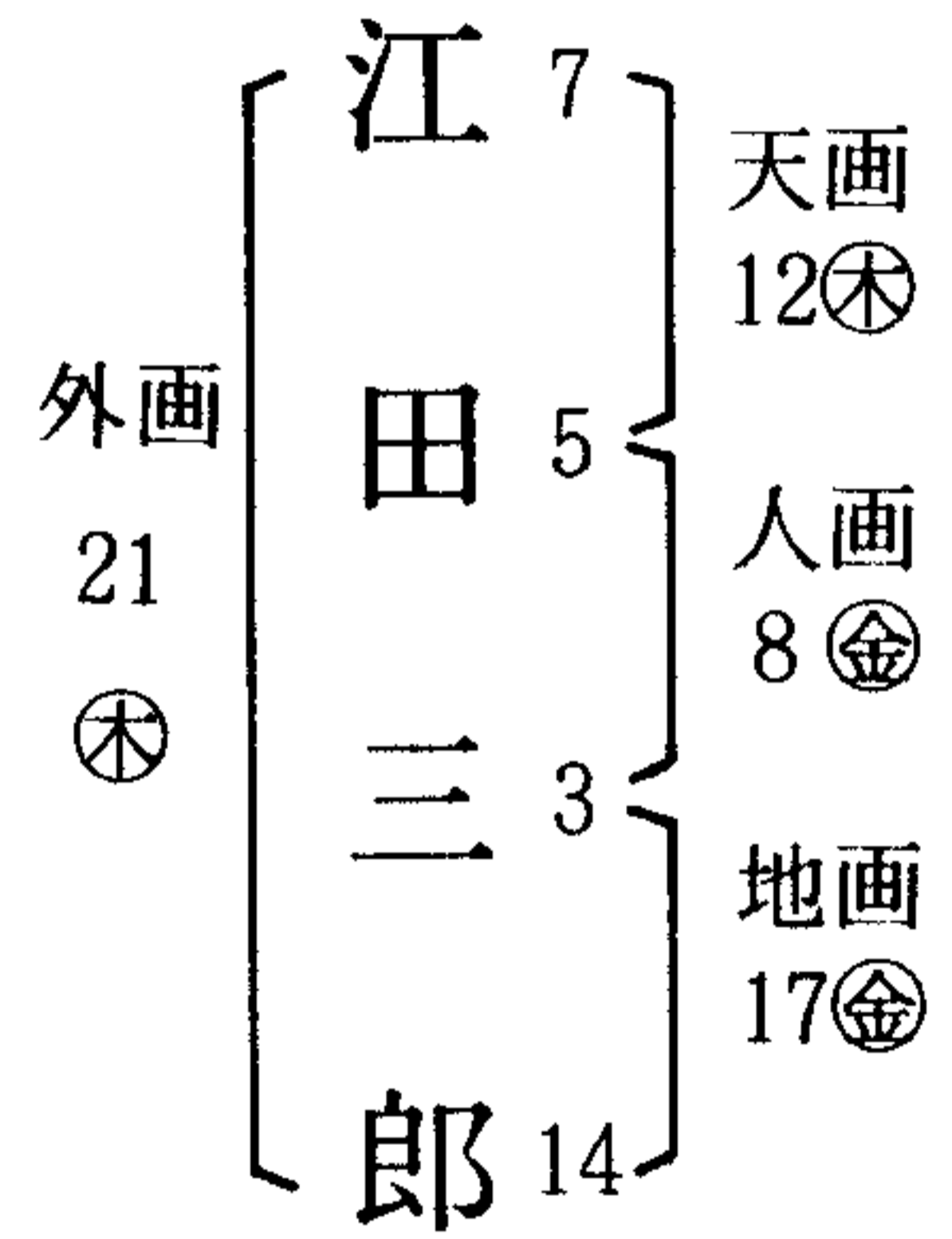
総画49



総画23



※ 三字姓の場合

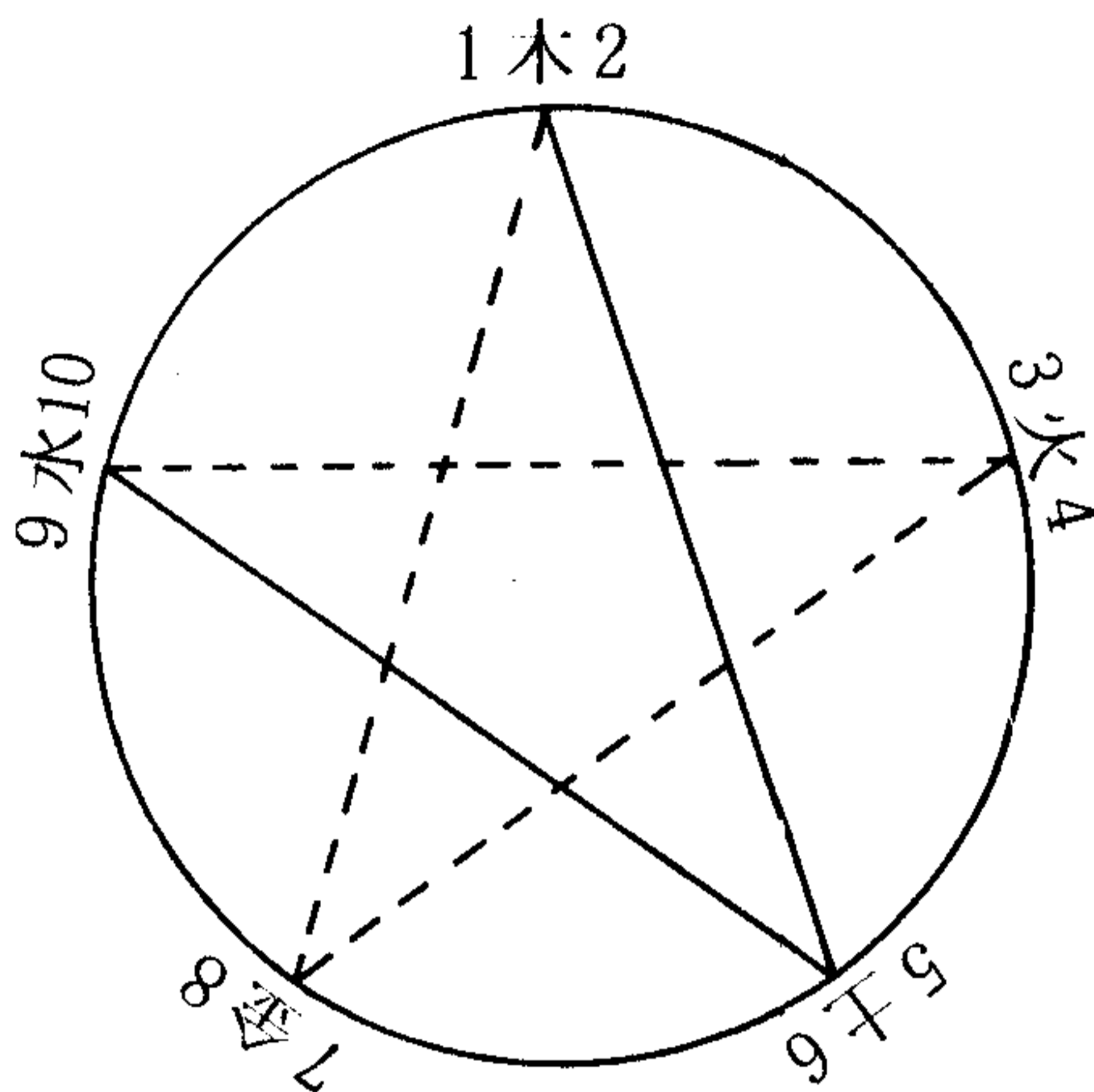


総画29

陰陽五行の法則

1	2	木
陽	陰	性
3	4	火
陽	陰	性
5	6	土
陽	陰	性
7	8	金
陽	陰	性
9	10	水
陽	陰	性

陰陽が調和融合する場合、反発対立する場合の相関関係は、別記の陰陽配列を参照され
ますと理解できます。陰陽の相関が調和融合する場合は、助け合いが生かされ合う関係を
生じ、反発対立が相関する場合はその逆の作用を生ず。



点数で結ばれている陰陽配列の場合はその作用が最も
強く現われていますが、そのうちでも木対金、金対火、火
対水が顕著に対立を現わしています。直線で結ばれる陰
陽配列の場合は比較的弱く作用していますが、数理の吉
凶に依りまして強く作用しますから参考になります。

陰陽五行の天、人、地三才の配列に於て盈数を払った端数が、天画一又は二に対し人格一又は一、地画も一又は二になる場合・天画三又は四で同じく人画、地画も三又は四の場合・天画五又は六で同じく人画地画も五又は六の場合・天画七又は八で同じく人画、地画も七又は八の場合・天画九又は十で同じく人画、地画も九又は十になる場合の五系列があります。いずれも特種な発達を示す旺盛運で、仕事面では自己の才能や能力をフルに発揮して成功運を強めるのですが、一方愛情面や家庭運に不安定の凶意がありました。そのうちでも特に七又は八で揃う系列の場合は、悪くすると独身で生涯をすごす場合や、家庭的にも愛情面で不安定という悩みが多いものです。

次に問題なのは、三又は四で揃う系列の場合も不安定を来たしまして、特に数理によっては多情型もあります。しかし五又は六で揃う系列の場合や一又は二で揃う系列の場合、九又は十で揃う系列の場合は強くは表われていないのです。

特に注意したいのは七又は八の系列と三又は四の系列ということです。

遺 伝 の 法 則

運命というものは偶然に起り得るものではありません。多くの人は、運命は真義性がわからないので偶然だと思つていますが、天地すべてに陰陽の定理法則がありまして此の法則は外れません。因縁果の法則は、人の生命にも肉体にも総てに現われ、此の法則が姓名にも現われています。

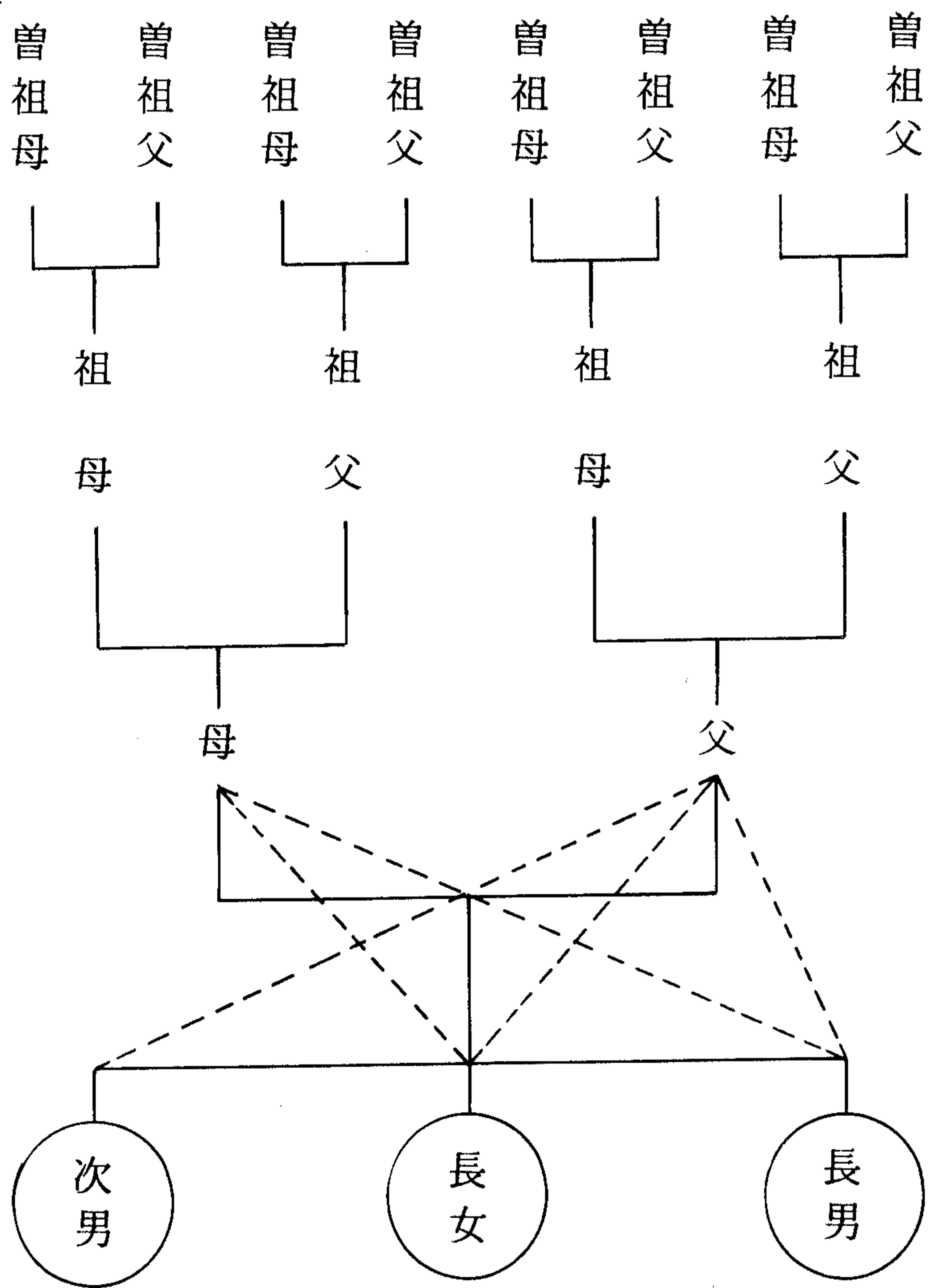
親の因縁は必ず子に流れ、夫婦の相関的因縁が又夫婦の運命、子の運命を支配する。

生命遺伝 || 親から子に子から孫に次第に肉体が遺伝する。

姓名遺伝 || 肉体を代表する姓名も、生命遺伝の法則と同一の法則にして、親から子に子から孫に遺伝する。

この陰陽、因縁果の法則は何の資料もなく、又は中途半端な資料を用いて子女の命名をしている場合は、必ず両親の持つ悪い面を遺伝させています。良い面を遺伝させているのが極めて少ないのも参考になるかと思うのです。

尚又、破乱の多い数理を持っている親ほど子女にもその因縁果を遺伝させているのはなんと嘆かわしい次第です。



文字の成り立ち字源

姓名判断を応用して性格や運勢を判断する場合は、名前を形成している文字の画数で判断するのですが、字画が人の性格や運勢を左右するものかと考えますと、理解に苦しむかも知れません。文字そのものは字源に基づいた成り立ちの定義がありまして、この法則による字画数に神秘的な霊位があるのです。そのためには文字の根本義、表意文字の成り立ちと定義を理解する必要があります。

字源に基づいた定義で字画数を算定しませんと、これを無視した字画数では根本義の霊位が異なりますから正しい判断は出来なばかりか誤った判断になります。したがって略漢字の場合は字画数が異なるのは当然です。尚、ヘン、ツクリ、カンムリ等は一般の漢和字典と画数の取りかたが違う場合があります。

字源に基づいて字画数を算定されまして例記に依り、自己、友人、知人、恋人等を判断してみますと納得できるでしょう。

因に（実）は新漢字で八画ですが字源では實で十四画ですから十四数の霊位を含んでいるのです。（恵）も新漢字で十画ですが字源では恵で十二画ですから十二数の霊位を含んでいることになります。

この外に多数略漢字がありますがいずれも同じ意義を含むということなのです。当人はそれぞれ新漢字や略字で名前を表現して日常使っているにも拘らず、性格や運勢は字源に基づいた字画数の霊位で支配されています故に、神秘的な霊位としか解釈のしようがないのです。

① さんずいへんは ② 水の意で四画に取る。江は普通六画ですが七画になります。但し酒は酉にちなんでさんずいへんにあらず十画。

③ 小りっしんへんは ④ 心の意で四画に取る。悦や悟は普通の画数より一画増に取ります。

⑤ てへんは ⑥ 手の意で四画に取る。折や打は普通の画数より一画増に取ります。

⑦ けものへんは ⑧ 犬の意で四画に取る。猛は普通の画数より一画増に取ります。猪はけものへんで取らず ⑨ 豕の意で四画に取る。いのこの字源で十六画になります。

⑩ ねしめすへんは ⑪ 示の意で五画に取る。福は十四画です。

⑫ ねころもへんは ⑬ 衣の意で六画に取る。裕は十二画に取り易いが十三画です。

⑭ 正しようへんは ⑮ 刑の意で四画に取る。政は普通九画ですが八画に取ります。

⑯ 王たまへんは ⑰ 玉の意で五画に取る。理や珠は普通の画数より一画増に取ります。

⑱ 月つきへんは ⑲ 肉にくずきの意で六画に取る。但し肉体に属する月へんだけ、育、

脇、肝のように肉体にちなんだ字は普通の画数よりも二画増に取りります。勝や服はにくずきにあらず普通の画数です。

ㇷ ござとへん は左側は ㇷ の字源で八画に取る。陽や隆は十七画に取りります。

ㇸ おゝざとへんは右側は ㇸ の字源で七画に取る。郎は十四画、部は十五画に取りります。

ㇹ しんにゅうへんは ㇹ の字源で七画に取る。辻は九画に取りります。樋は木ヘンに属するためしんにゅうにあらず十五画です。

ㇺ くさかんむりは ㇺ の意で六画に取る。藤は普通十九画ですが二画増の二十一画となりります。敬はかんむりにあらず普通の十三画です。

尚、数字は一から十までは画数によらず呼数で算定する。自然の霊位を有するからでありります。

字源に基づいての算出法ですから一般の漢和字典とは画数がちがうものもありますが自己判断をされまますと理解できます。